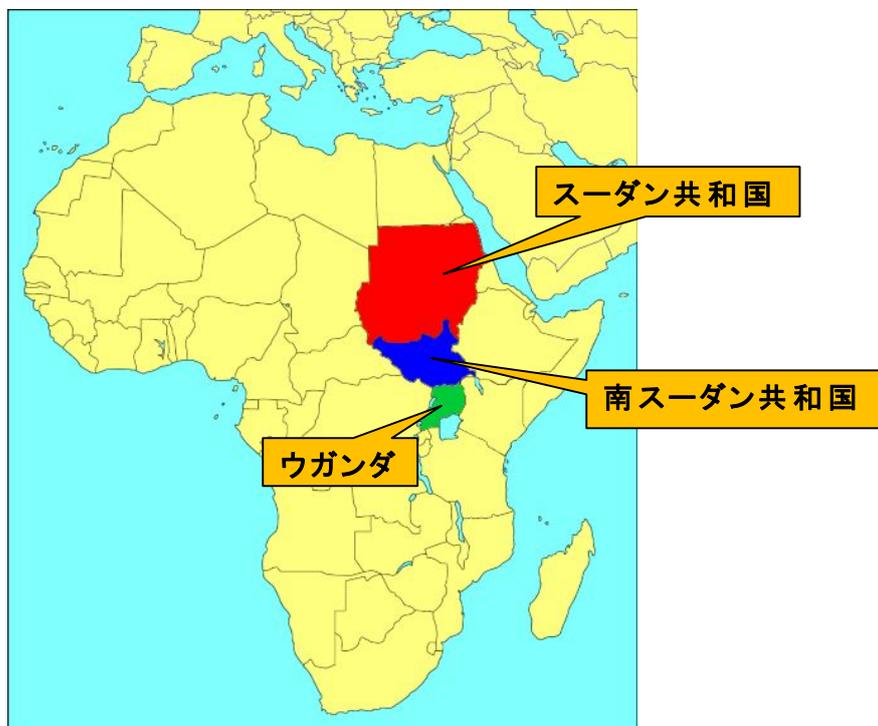


南スーダン共和国及びスーダン共和国で黄熱が発生

2011年9月26日 ProMED 情報



(1) 南スーダン共和国からウガンダへの輸入例 9月26日 [Afriqinfos]

世界保健機関(WHO)とウガンダ保健省は、ウガンダ北部で黄熱の患者を確認しました。同国キトガム Kitgum 県で発見されたこの患者は、南スーダン共和国の東エクトリア Equatoria 州の州都トリット Torit からの輸入例です。キトガム県は、今年1月に大規模なワクチン接種を実施したばかりです。

(2) スーダン共和国(北ダルフール州 North Darfur) 9月15日 [All Africa]

9月15日現在、北ダルフール州の Zamzam と Abushok 難民キャンプで、黄熱が流行しています。主に子供を中心に流行しており、住民の話によると、黄熱は、ここ数日間、住民の間で確実に広がっているとのこと。難民キャンプでは、黄熱と下痢患者が増加しています。ただし、Zamzam 難民キャンプで確定診断された黄熱患者は4名のみです。

ZamZam 難民キャンプでは、劣悪な生活環境や飲料水の不足により、住民の健康状態が悪化していることを当局に訴えています。

[ProMED 調整者]

以上の報告は2週間前のもので、9月15日以降は、報告がないことから、それ以上の患者はないか少ないか、あるいは黄熱の診断が正しくないと思われる。